

地域再生計画（地方創生港整備交付金）事後評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県	地域再生計画名	浅茅湾マグロ養殖にかかる給餌・給水基地整備の連携計画
計画期間	平成26年度～令和元年度	評価責任者	長崎県水産部漁港漁場課長、土木部港湾課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	H24	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	養殖マグロの出荷量の拡大	420トン	H24	-	-	-	600トン	H29	769t	○	4	2	浮桟橋や物揚場等の給餌施設の整備により、目標値を達成できた。
	指標2	対馬市における養殖経営体数の増加	116経営体	H20	-	-	-	120経営体	H27	109経営体	△	4	2	浮桟橋や物揚場等の給餌施設の整備により、対馬の重要な養殖業であるマグロ養殖等については、増加傾向にあるが、一方で真珠養殖等が低迷し、全体数の増加には至らず、目標値を下回った。
	指標3	日本遠洋旋網漁業協同組合の水揚に占める松浦魚市での取扱率	40.7%	H14-H25(平均)	-	-	-	42.0%	R2	39.5%	△	4	2	鮮魚用浮桟橋については、浮桟橋及び浮桟橋背後で整備中の高度衛生管理型荷捌所の整備に伴い、R2.3まで荷受けを制限していたため、現状では目標値を下回った。 R4.3に完成予定の高度衛生管理型荷捌所と連携することにより、今後取扱率が増加する見込みである。
	指標4	調川港における輸出量の増加	16,000トン	H27	-	-	-	19,000トン	R2	28,648トン	○	4	2	輸出用浮桟橋については、浮桟橋整備に伴い流通体系が円滑となったことから、目標値を上回った。 今後、浮桟橋背後で整備中の高度衛生管理型荷捌所と連携することにより、さらなる輸出量の増加が見込まれる。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業	港湾施設【竹敷港】 (竹敷地区)		計画	中間年度 (-)	最終実績	事業の進捗状況に関する評価								
	泊地(-3.0m) 物揚場(-3.0m) 浮桟橋 道路		170m2 50m 1基 40m	-	172m2 50m 1基 40m	浮桟橋や物揚場等の給餌施設の整備により、効率的な作業環境を確保し、もって養殖マグロの出荷量の増加につながったものと考えている。								
	港湾施設【調川港】 (調川地区)		計画	中間年度 (-)	最終実績	事業の進捗状況に関する評価								
	岸壁(-4.5m)(改良) 岸壁(-5.0m)(改良)(A) 道路(改良) 浮桟橋 泊地(-6.5m)		230m 520m 1,430m 2基 11,000m2	-	174m 394m 809m 2基 8,920m2	道路(改良)など一部の整備が進まなかったが、大型運搬船の安全な係留のための水域施設、陸揚げパースの追加及び円滑な陸揚げ作業確保のための大型浮桟橋を計画どおり整備することが出来た。今後、浮桟橋背後で整備中の高度衛生管理型荷捌所と連携することにより、松浦魚市での取扱率及び輸出量のさらなる増加が見込まれる。								
	漁港施設【三浦湾漁港】 (池ノ浦地区)		計画	中間年度 (-)	最終実績	事業の進捗状況に関する評価								
岸壁(改良) (緒方地区) A物揚場(改良) 繫船護岸(改良) A岸壁(改良) B岸壁(改良) (久須保地区) A岸壁(改良) A物揚場(改良) (万間地区) B岸壁(改良)		286.6m 51.8m 180m 94m 137.5m 171m 82m 102m	-	287m 51.8m 180m 94m 137.5m 171m 82m 102m	給水施設周辺の係留施設において、車止めの整備の整備を行ったことにより安全な作業環境を確保し、もって養殖マグロの出荷量の増加につながったものと考えている。									
漁港施設【生月漁港】 (岩部浦地区)		計画	中間年度 (-)	最終実績	事業の進捗状況に関する評価									
-5m岸壁(改良) -4m岸壁(改良) -3m岸壁(改良)		110m 327m 85m	-	110m 327m 85m	計画した全区間に車止の設置を完了しており、車止設置後に海面への転落事故は発生しておらず、出漁準備作業等の安全性が確保されたことで円滑な漁業活動に寄与している。									
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	関係機関に聞き取り等調査を実施し、評価を行った。													
⑤事後評価の公表方法	長崎県土木部港湾課のホームページに掲載する。													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に実施し、目標数値が概ね達成された。今後、浮桟橋背後で整備中の高度衛生管理型荷捌所と連携することにより、目標値のさらなる増加が見込まれ、H31.4.27に松浦市が「アジフライの聖地」を宣言したことで、観光客の増加が見込まれ地域の活性化が期待される。また、竹敷港での給餌基地整備、三浦湾漁港での給水基地整備、調川港でのエサの水揚げ基地整備、生月漁港でのエサ漁獲船団基地整備を実施することで、対馬市の基幹産業の一つであるマグロ養殖業の活性化をもって地域の水産業の振興を図ることができ、早期に事業効果の発現を期待することができる。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画では、概ね計画どおり事業進捗が図られており、日本遠洋旋網漁業協同組合の水揚に占める松浦魚市での取扱率及び対馬市における養殖経営体数の増加は若干目標値を下回ったが、調川港における輸出量の増加及び養殖マグロの出荷量の拡大は目標値を達成できた。今後も引き続き港湾・漁港の整備を進め、さらなる地域の活性化を目指していきたい。													